

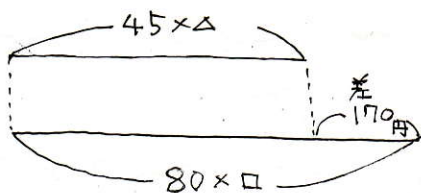
5年(上)第12回 例題の解説

★ 例題4

45円切手と80円切手を合わせて24枚買ったところ、45円切手だけの代金は80円切手だけの代金よりも170円安くなりました。このとき、45円切手、80円切手をそれぞれ何枚買いましたか。

80円切手を□枚
45円切手を△枚 合わせて24枚
買ったとすると次のような式になります。

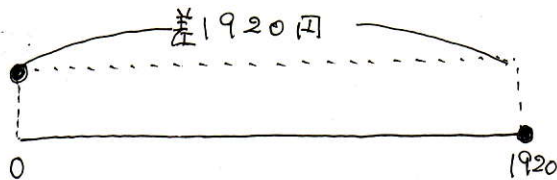
$$80 \times \square - 45 \times \triangle = 170 \text{ (円)}$$



次のように考えます。

24枚全部80円切手を買ったとすると、
(45円切手は0枚) その金額の差は

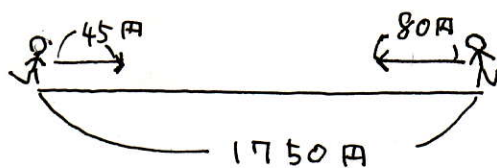
$$80 \times 24 - 45 \times 0 = 1920 \text{ (円)}$$



この1920円の差を170円(枚)の差を縮める
水は"よいので 縮める長さ(金額)は
 $1920 - 170 = 1750 \text{ (円)}$ です。

1回のおきかえで、45円の切手を1枚
増やし、80円切手を1枚へらすと、下の図
のように、両方からへるので

$$45 + 80 = 125 \text{ 円ずつ減っていきまふ。}$$



したがって おきかえの回数はいは
 $1750 \div 125 = 14 \text{ (回)}$ ← 45円の枚数

45円の切手の枚数は14枚

80円の切手の枚数は $24 - 14 = 10 \text{ (枚)}$

45円切手14枚、80円切手10枚

◎ 別解

$80 \times \square - 45 \times \triangle = 170$ の
□と△に $\square + \triangle = 24$ になる
ように □と△を決めます。
このとき $\square = 12, \triangle = 12$ から
およその目安を立て調整
します。

この場合、 $\square = 12, \square = 13$ $\square = 14$
 $\triangle = 12, \triangle = 11$ $\triangle = 10$

で決めます。

いよいよ困ったらこの方法。